

大和住銀／ コロンビア米国株 リバーサル戦略ファンド

Aコース(ダイワ投資一任専用)／
Bコース(ダイワ投資一任専用)
【運用報告書(全体版)】

(2021年6月16日から2022年6月15日まで)

第 **6** 期
決算日 2022年6月15日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは外国投資信託証券への投資を通じて、米国株式へ投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限(設定日:2016年9月26日)
運用方針	外国投資信託証券への投資を通じて、米国株式へ投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要投資対象	大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース(ダイワ投資一任専用)は以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 コロンビア・USコントラリアン・ファンド ヘッジド・クラス 米国の株式等 原則として組入資産に対して対円で為替ヘッジを行います。 マネー・マネジメント・マザーファンド 本邦通貨建て公社債および短期金融商品等 大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース(ダイワ投資一任専用)は以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 コロンビア・USコントラリアン・ファンド アンヘッジド・クラス 米国の株式等 原則として為替ヘッジは行いません。 マネー・マネジメント・マザーファンド 本邦通貨建て公社債および短期金融商品等
当ファンドの運用方法	■当ファンドは、投資者と販売会社が締結する投資一任契約に基づいて、資産を管理する口座の資金を運用するためのファンドです。 ■米国株式を実質的な投資対象とし、コロンビア社の米国株リバーサル戦略により信託財産の中長期的な成長を目指します。 ■「コロンビア・USコントラリアン・ファンド」における株式の銘柄選択にあたっては、個別企業のファンダメンタルズを勘案したリバーサル(逆張り)戦略により行います。外国投資信託証券における株式の運用は、コロンビア・マネジメント・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシーが行います。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■毎年6月15日(休業日の場合翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配金額を決定します。 ■分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当収益および売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額な場合等には分配を行わないことがあります。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 (基準価額水準、市況動向等によって変更する場合があります。)

 三井住友DSアセットマネジメント
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース（ダイワ投資一任専用）

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) S & P 500種株価指数 (配当)		公社債組入比率	投資信託証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税金	騰落率	配当	騰落率			
2期 (2018年6月15日)	円	円	%		%	%	%	百万円
	12,266	0	8.1	133.11	16.4	0.0	98.2	512
3期 (2019年6月17日)	12,427	0	1.3	140.93	5.9	0.0	97.9	532
4期 (2020年6月15日)	13,035	0	4.9	151.42	7.4	0.0	97.9	786
5期 (2021年6月15日)	18,196	0	39.6	215.22	42.1	0.0	98.3	1,599
6期 (2022年6月15日)	15,466	0	△15.0	191.68	△10.9	0.0	97.3	1,530

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		(参考指数) S & P 500種株価指数 (配当)		公社債組入比率	投資信託証券組入比率
	騰落率		配当	騰落率		
(期首) 2021年6月15日	円	%		%	%	%
	18,196	—	215.22	—	0.0	98.3
6月末	18,257	0.3	217.15	0.9	0.0	98.3
7月末	18,719	2.9	223.80	4.0	0.0	98.4
8月末	19,012	4.5	229.66	6.7	0.0	97.4
9月末	18,187	△0.0	221.33	2.8	0.0	97.8
10月末	18,889	3.8	233.55	8.5	0.0	98.2
11月末	18,872	3.7	236.87	10.1	0.0	98.2
12月末	19,439	6.8	244.16	13.4	0.0	96.6
2022年1月末	18,426	1.3	225.99	5.0	0.0	96.1
2月末	18,291	0.5	223.89	4.0	0.0	97.8
3月末	18,949	4.1	235.33	9.3	0.0	98.0
4月末	17,293	△5.0	214.09	△0.5	0.0	96.5
5月末	17,063	△6.2	213.17	△1.0	0.0	96.0
(期末) 2022年6月15日	15,466	△15.0	191.68	△10.9	0.0	97.3

※騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース（ダイワ投資一任専用）

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) S & P 500種株価指数 (配当込み、円換算)		公社債 組入比率	投資信託 証券組入 比率	純資産額
	(分配落)	税金 配込	期騰 落率	騰落 率	騰落 率			
2期（2018年6月15日）	円 13,805	円 0	% 10.7	146.23	% 17.4	% 0.0	% 98.0	百万円 345
3期（2019年6月17日）	14,091	0	2.1	151.99	3.9	0.0	98.0	416
4期（2020年6月15日）	14,824	0	5.2	161.17	6.0	0.0	97.9	669
5期（2021年6月15日）	21,330	0	43.9	235.21	45.9	0.0	98.5	1,221
6期（2022年6月15日）	22,137	0	3.8	256.87	9.2	0.0	97.6	1,983

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		(参考指数) S & P 500種株価指数 (配当込み、円換算)		公社債 組入比率	投資信託 証券組入 比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首) 2021年6月15日	円 21,330	% -	235.21	% -	% 0.0	% 98.5
6月末	21,499	0.8	238.34	1.3	0.0	98.5
7月末	21,855	2.5	243.22	3.4	0.0	98.6
8月末	22,213	4.1	250.52	6.5	0.0	98.6
9月末	21,720	1.8	245.87	4.5	0.0	97.8
10月末	22,860	7.2	263.50	12.0	0.0	98.2
11月末	22,871	7.2	267.48	13.7	0.0	98.0
12月末	23,816	11.7	278.74	18.5	0.0	95.8
2022年1月末	22,631	6.1	258.94	10.1	0.0	97.4
2月末	22,530	5.6	256.78	9.2	0.0	97.3
3月末	24,629	15.5	285.87	21.5	0.0	97.9
4月末	23,624	10.8	273.83	16.4	0.0	97.1
5月末	23,110	8.3	271.26	15.3	0.0	97.6
(期末) 2022年6月15日	22,137	3.8	256.87	9.2	0.0	97.6

※騰落率は期首比です。

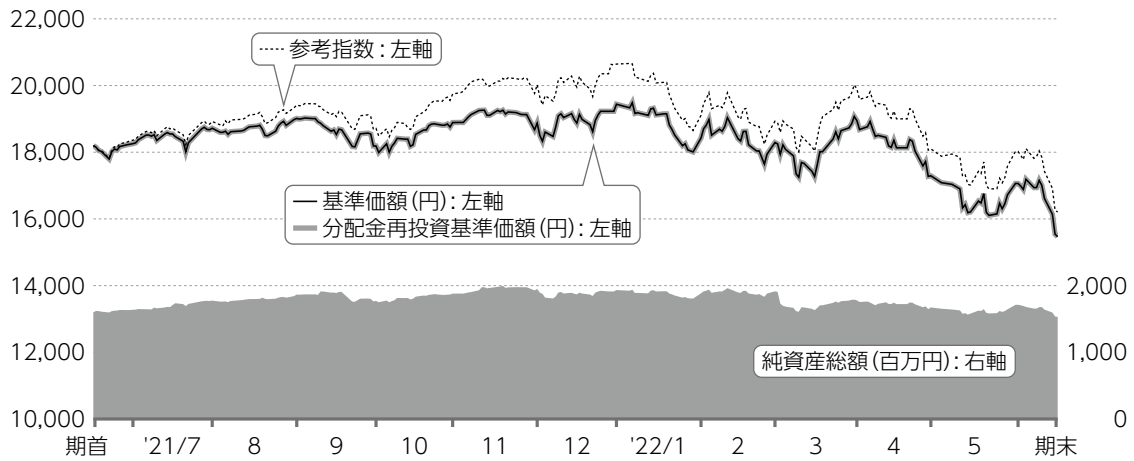
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2021年6月16日から2022年6月15日まで)

基準価額等の推移

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース(ダイワ投資一任専用)



※分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	18,196円
期末	15,466円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	-15.0% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

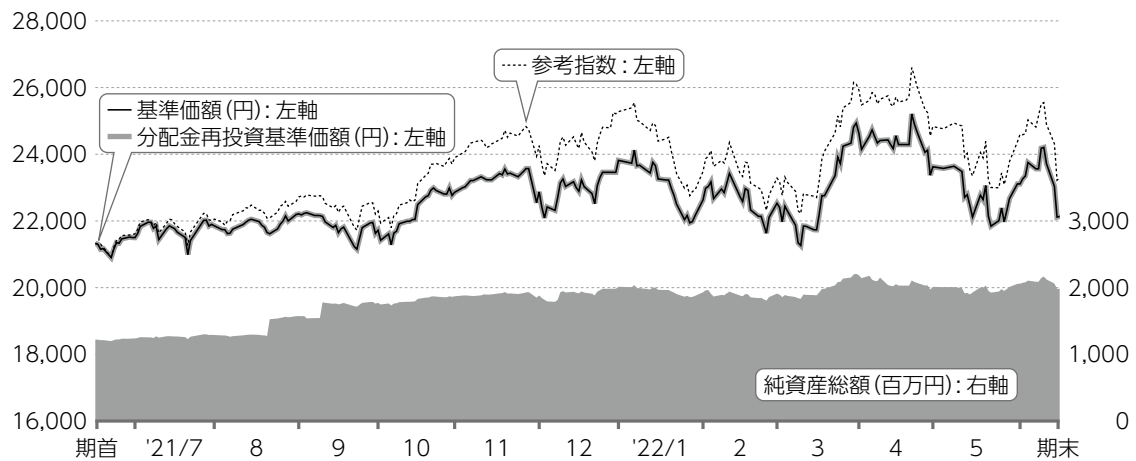
分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、S & P 500種株価指数(配当込み)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース(ダイワ投資一任専用)



※分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	21,330円
期末	22,137円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	+3.8% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、S & P 500種株価指数(配当込み、円換算)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

基準価額の主な変動要因(2021年6月16日から2022年6月15日まで)

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース(ダイワ投資一任専用)

当ファンドは、コロンビア・USコントラリアン・ファンド ヘッジド・クラスへの投資を通じて、米国株式へ投資しました。

上昇要因

- 期間の初めより2021年12月末にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大のピークアウトや景気回復への期待などから、米国株式市場が上昇したこと

下落要因

- 2022年1月以降、インフレ懸念や長期金利の上昇、F R B (米連邦準備制度理事会)による利上げ、地政学リスクの高まりなどを背景に、米国株式市場が下落したこと

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース(ダイワ投資一任専用)

当ファンドは、コロンビア・USコントラリアン・ファンド アンヘッジド・クラスへの投資を通じて、米国株式へ投資しました。

上昇要因

- 期間の初めより2021年12月末にかけて、経済再開や景気回復への期待などから、米国株式市場が上昇したこと
- 2022年3月上旬以降、利上げを含め米国の金融政策がタカ派（インフレ抑制を重視する立場）色を強めたことなどから、米ドル高・円安が進行したこと

下落要因

- 2022年1月以降、インフレ懸念や長期金利の上昇、FRBによる利上げ、地政学リスクの高まりなどを背景に、米国株式市場が下落したこと

投資環境について（2021年6月16日から2022年6月15日まで）

期間における米国株式市場は下落しました。また、為替市場は米ドル高・円安となりました。

米国株式市場

米国株式市場は下落しました。期間の初めから2021年12月末にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大のピークアウトや、それに伴い経済再開、景気回復への期待が強まったことなどから株式市場は上昇しました。その後、インフレ懸念などから長期金利が上昇し、F R Bの金融政策もタカ派色が強まったことから株式市場は下落に転じました。2021年10-12月期の企業業績が概ね堅調だったことで反発する局面もありましたが、ロシアによるウクライナ侵攻などもあり、米国株式市場は下落基調が継続しました。2022年5月月初のF O M C（米連邦公開市場委員会）では0.5%の利上げが実施される一方、景気の先行き懸念が強まったことなどから、期間末にかけても軟調な動きが続きました。

為替市場

米ドル・円相場は期間の初めから2022年3月上旬にかけては、概ねレンジ相場となりました。その後、F R Bがタカ派色を強めることで、日米における金融政策の方向性の違いや金利差拡大を背景に米ドル高・円安となりました。5月には米国の急速な金融引き締め観測による景気減速懸念の台頭から、小幅に米ドル安・円高となる局面もありましたが、期間末にかけては再度米ドル高・円安が進行しました。

ポートフォリオについて（2021年6月16日から2022年6月15日まで）

**大和住銀／コロンビア米国株リバーサル
戦略ファンド Aコース
（ダイワ投資一任専用）**

主要投資対象であるコロンビア・U S コントラリアン・ファンド ヘッジド・クラスを期間を通じて高位に組み入れました。

**コロンビア・U S コントラリアン・
ファンド ヘッジド・クラス**

当ファンドの運用戦略であるリバーサル戦略（ファンダメンタルズ分析および株価水準を考慮した逆張り投資）に基づき、株式ポートフォリオを運用しました。

期間における主な売買としては、Walmart Inc.、Wells Fargo & Company、Take-Two Interactive Software, Inc.などを購入する一方、Philip Morris International Inc.、Cisco Systems, Inc.、Autodesk, Inc.などを売却しました。

また、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指しました。

**大和住銀／コロンビア米国株リバーサル
戦略ファンド Bコース
（ダイワ投資一任専用）**

主要投資対象であるコロンビア・U S コントラリアン・ファンド アンヘッジド・クラスを期間を通じて高位に組み入れました。

**コロンビア・U S コントラリアン・
ファンド アンヘッジド・クラス**

当ファンドの運用戦略であるリバーサル戦略（ファンダメンタルズ分析および株価水準を考慮した逆張り投資）に基づき、株式ポートフォリオを運用しました。

期間における主な売買としては、Walmart Inc.、Wells Fargo & Company、Take-Two Interactive Software, Inc.などを購入する一方、Philip Morris International Inc.、Cisco Systems, Inc.、Autodesk, Inc.などを売却しました。

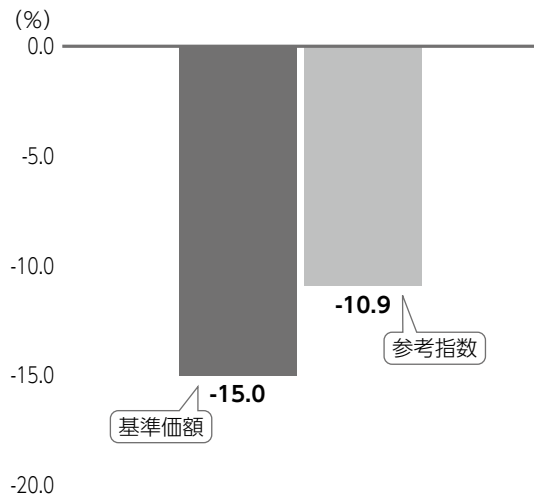
マネー・マネジメント・マザーファンド

安全性と流動性を考慮し、短期の政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の政府保証債を中心とした運用を継続しました。

ベンチマークとの差異について(2021年6月16日から2022年6月15日まで)

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース(ダイワ投資一任専用)

基準価額と参考指数の騰落率対比



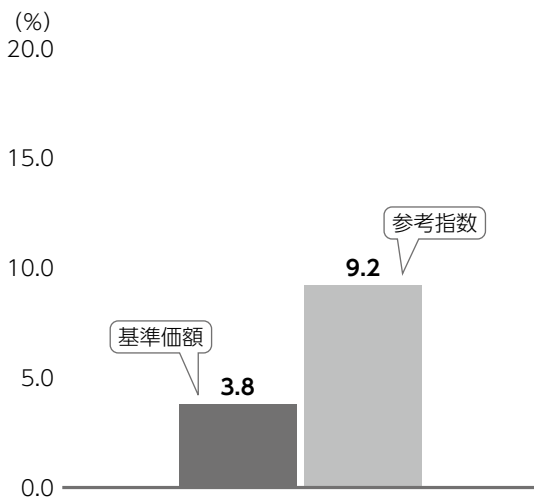
当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてS & P 500種株価指数(配当込み)を設けています。

左のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

※基準価額は分配金再投資ベース

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース(ダイワ投資一任専用)

基準価額と参考指数の騰落率対比



当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてS & P 500種株価指数(配当込み、円換算)を設けています。

左のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

※基準価額は分配金再投資ベース

分配金について（2021年6月16日から2022年6月15日まで）

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース（ダイワ投資一任専用）
／Bコース（ダイワ投資一任専用）

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項 目	第6期	
	Aコース (ダイワ投資一任専用)	Bコース (ダイワ投資一任専用)
当期分配金	0	0
(対基準価額比率)	(0.00%)	(0.00%)
当期の収益	-	-
当期の収益以外	-	-
翌期繰越分配対象額	5,465	12,137

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りとした。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース (ダイワ投資一任専用)

引き続き、運用の基本方針に従い、円建て外国投資信託証券への投資を通じて、米国株式へ投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。

コロンビア・USコントラリアン・ファンド ヘッジド・クラス

金融市場では、主にインフレ率の上昇や、FRBによる利上げのペースとタイミングなどが懸念材料になっています。企業業績は依然として概ねしっかりとはしているものの、インフレや金融政策、ロシア・ウクライナ情勢などを考慮すると、先行きに楽観的になれる状況ではありません。一方で、経済活動の再開は明るい材料で、サービス支出(レストランや旅行など)に対する旺盛な繰延需要が存在しており、またサプライチェーン(供給網)の問題も解消していくと思われます。ボラティリティ(価格変動性)が高い流動的な市場環境の中で、リスクに留意しつつ、長期にわたり上手く機能してきた逆張りプロセスを継続し運用する方針です。

また、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース (ダイワ投資一任専用)

引き続き、運用の基本方針に従い、円建て外国投資信託証券への投資を通じて、米国株式へ投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。

コロンビア・USコントラリアン・ファンド アンヘッジド・クラス

金融市場では、主にインフレ率の上昇や、FRBによる利上げのペースとタイミングなどが懸念材料になっています。企業業績は依然として概ねしっかりとはしているものの、インフレや金融政策、ロシア・ウクライナ情勢などを考慮すると、先行きに楽観的になれる状況ではありません。一方で、経済活動の再開は明るい材料で、サービス支出(レストランや旅行など)に対する旺盛な繰延需要が存在しており、またサプライチェーンの問題も解消していくと思われます。ボラティリティが高い流動的な市場環境の中で、リスクに留意しつつ、長期にわたり上手く機能してきた逆張りプロセスを継続し運用する方針です。

マネー・マネジメント・マザーファンド

当ファンドでは引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。ファンドの平均残存年限については、2～4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

3 お知らせ

約款変更について

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース(ダイワ投資一任専用)
／Bコース(ダイワ投資一任専用)

該当事項はございません。

1万口当たりの費用明細(2021年6月16日から2022年6月15日まで)

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース(ダイワ投資一任専用)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	96円	0.522%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は18,330円です。
(投信会社)	(71)	(0.385)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(20)	(0.110)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(5)	(0.027)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	2	0.011	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(-)	(-)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(2)	(0.010)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
合計	98	0.533	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

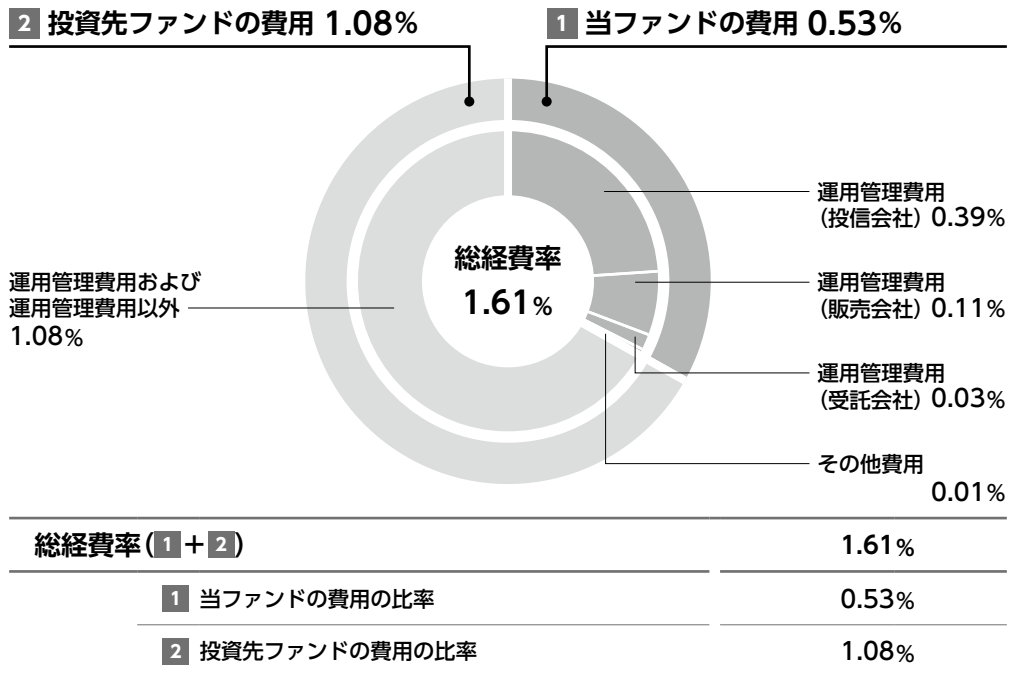
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※**2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.61%です。

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース（ダイワ投資一任専用）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	118円	0.522%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は22,659円です。
(投信会社)	(87)	(0.385)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(25)	(0.110)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(6)	(0.027)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	2	0.011	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(-)	(-)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(2)	(0.010)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
合計	121	0.533	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

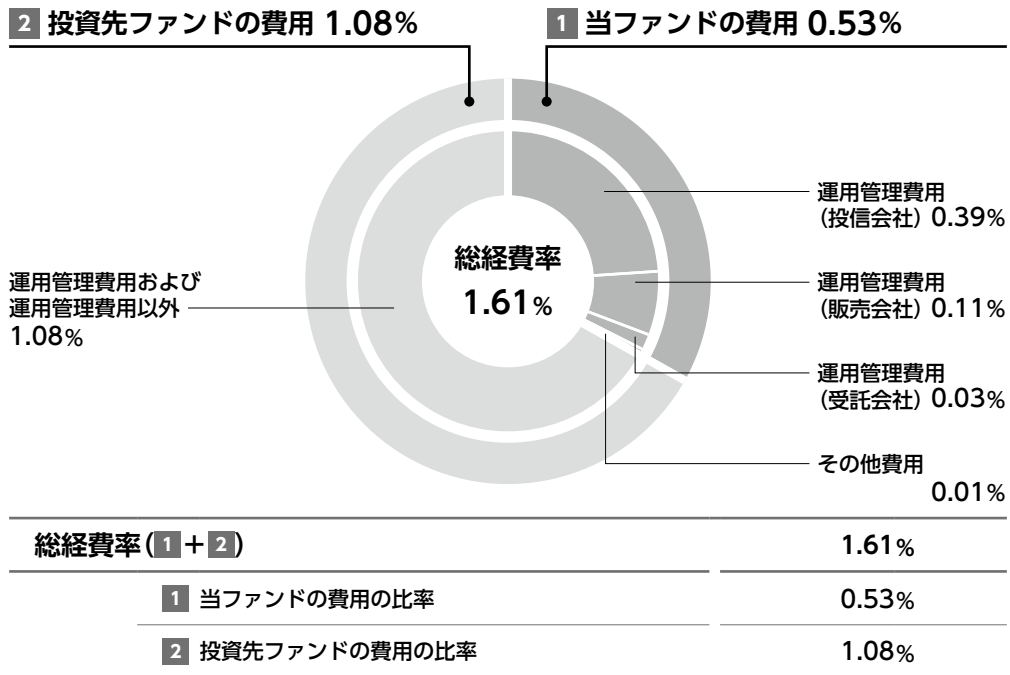
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※**2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.61%です。

■ 当期中の売買及び取引の状況（2021年6月16日から2022年6月15日まで）

投資信託証券

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース（ダイワ投資一任専用）

		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国内	コロンビア・USコントラリアン・ ファンド ヘッジド・クラス	448,916,451	865,469	359,539,801	690,128

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース（ダイワ投資一任専用）

		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国内	コロンビア・USコントラリアン・ ファンド アンヘッジド・クラス	529,371,621	1,248,177	239,280,703	581,924

※金額は受渡し代金。

※国内には、円建ての外国籍投資信託証券を含みます。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

■ 利害関係人との取引状況等（2021年6月16日から2022年6月15日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年6月16日から2022年6月15日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2022年6月15日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース（ダイワ投資一任専用）

ファンド名	期首(前期末)	期		末
	口数	口数	評価額	組入比率
コロンビア・USコントラリアン・ファンド ヘッジド・クラス	827,997,776	917,374,426	1,488,440	97.3
合計	827,997,776	917,374,426	1,488,440	97.3

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース（ダイワ投資一任専用）

ファンド名	期首(前期末)	期		末
	口数	口数	評価額	組入比率
コロンビア・USコントラリアン・ファンド アンヘッジド・クラス	539,973,741	830,064,659	1,936,125	97.6
合計	539,973,741	830,064,659	1,936,125	97.6

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(2) 親投資信託残高

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース（ダイワ投資一任専用）

種類	期首(前期末)	期		末
	口数	口数	評価額	額
マネー・マネジメント・マザーファンド	9	9	9	9

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース（ダイワ投資一任専用）

種類	期首(前期末)	期		末
	口数	口数	評価額	額
マネー・マネジメント・マザーファンド	9	9	9	9

※マネー・マネジメント・マザーファンドの期末の受益権総口数は17,395,552口です。

■ 投資信託財産の構成

(2022年6月15日現在)

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース（ダイワ投資一任専用）

項目	期	末
	評価額	比率
投資信託受益証券	1,488,440	96.8
マネー・マネジメント・マザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	49,567	3.2
投資信託財産総額	1,538,017	100.0

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース（ダイワ投資一任専用）

項目	期	末
	評価額	比率
投資信託受益証券	1,936,125	97.2
マネー・マネジメント・マザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	54,961	2.8
投資信託財産総額	1,991,097	100.0

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース（ダイワ投資一任専用）

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年6月15日現在)

項目	期末
(A) 資産	1,538,017,275円
コール・ローン等	49,567,310
投資信託受益証券(評価額)	1,488,440,006
マネー・マネジメント・マザーファンド(評価額)	9,959
(B) 負債	8,015,323
未払金	3,215,985
未払信託報酬	4,611,803
その他未払費用	187,535
(C) 純資産総額(A-B)	1,530,001,952
元本	989,291,703
次期繰越損益金	540,710,249
(D) 受益権総口数	989,291,703口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,466円

※当期における期首元本額879,291,518円、期中追加設定元本額507,997,304円、期中一部解約元本額397,997,119円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2021年6月16日 至2022年6月15日)

項目	当期
(A) 配当等収益	△ 20,767円
受取利息	6,603
支払利息	△ 27,370
(B) 有価証券売買損益	△262,027,983
売買益	16,759,125
売買損	△278,787,108
(C) 信託報酬等	△ 9,551,049
(D) 当期損益金(A+B+C)	△271,599,799
(E) 前期繰越損益金	222,880,502
(F) 追加信託差損益金	589,429,546
(配当等相当額)	(296,088,662)
(売買損益相当額)	(293,340,884)
(G) 合計(D+E+F)	540,710,249
次期繰越損益金(G)	540,710,249
追加信託差損益金	589,429,546
(配当等相当額)	(296,088,662)
(売買損益相当額)	(293,340,884)
分配準備積立金	222,889,690
繰越損益金	△271,608,987

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	317,850,488
(d) 分配準備積立金	222,889,690
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	540,740,178
1万口当たり当期分配対象額	5,465.93
(f) 分配金	0
1万口当たり分配金	0

■ 分配金のお知らせ

	当	期
1万口当たり分配金（税引前）		0円

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース（ダイワ投資一任専用）

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年6月15日現在)

項目	期末
(A) 資産	1,991,097,396円
コール・ローン等	54,961,620
投資信託受益証券(評価額)	1,936,125,817
マネー・マネジメント・マザーファンド(評価額)	9,959
(B) 負債	7,605,147
未払金	2,254,077
未払信託報酬	5,163,758
その他未払費用	187,312
(C) 純資産総額(A-B)	1,983,492,249
元本	895,993,858
次期繰越損益金	1,087,498,391
(D) 受益権総口数	895,993,858口
1万口当たり基準価額(C/D)	22,137円

※当期における期首元本額572,735,813円、期中追加設定元本額588,395,626円、期中一部解約元本額265,137,581円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2021年6月16日 至2022年6月15日)

項目	当期
(A) 配当等収益	△ 22,347円
受取利息	5,546
支払利息	△ 27,893
(B) 有価証券売買損益	24,755,478
売買益	63,699,029
売買損	△ 38,943,551
(C) 信託報酬等	△ 9,546,880
(D) 当期損益金(A+B+C)	15,186,251
(E) 前期繰越損益金	220,746,070
(F) 追加信託差損益金	851,566,070
(配当等相当額)	(359,124,484)
(売買損益相当額)	(492,441,586)
(G) 合計(D+E+F)	1,087,498,391
次期繰越損益金(G)	1,087,498,391
追加信託差損益金	851,566,070
(配当等相当額)	(359,124,484)
(売買損益相当額)	(492,441,586)
分配準備積立金	235,954,642
繰越損益金	△ 22,321

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	15,201,513
(c) 収益調整金	851,566,070
(d) 分配準備積立金	220,753,129
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	1,087,520,712
1万口当たり当期分配対象額	12,137.59
(f) 分配金	0
1万口当たり分配金	0

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税引前）	当	期
		0円

各ファンドとも、上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

■ 組入れ投資信託証券の内容

投資信託証券の概要

ファンド名	コロンビア・USコントラリアン・ファンド ヘッジド・クラス／アンヘッジド・クラス
基本的性格	ケイマン籍契約型投資信託（円建て）
主要投資対象	米国の株式等を主要投資対象とします。
投資方針	<ol style="list-style-type: none"> 主として米国の株式等に投資することで、中長期的な信託財産の成長を目指します。 <ul style="list-style-type: none"> 株式等の投資にあたっては、厳格なファンダメンタルズ分析および株価水準を考慮した逆張り戦略により、安定した超過収益の獲得を目指します。 株式等の運用は、コロンビア・マネジメント・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシーが行います。 ヘッジド・クラスでは、原則として組入資産に対して対円で為替ヘッジを行います。アンヘッジド・クラスでは、原則として為替ヘッジは行いません。 資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> 株式等への投資割合には、制限を設けません。 同一銘柄の株式等への投資割合は、原則として信託財産の純資産総額の10%以内とします。 デリバティブの利用はヘッジ目的に限定しません。
申込手数料	ありません。
管理報酬 その他費用	管理報酬等：年0.47% 上記の他、信託財産にかかる租税、組入有価証券の売買時にかかる費用、受託会社の費用、管理事務費用、名義書換事務代行費用、組入有価証券等の保管に関する費用、設立費用、弁護士費用、財務諸表の監査にかかる費用や信託財産の事務に関する費用等はファンドの信託財産から負担されません。 上記の報酬等は将来変更される場合があります。
管理会社	ランタン・ストラクチャード・アセット・マネジメント・リミテッド
投資顧問会社	コロンビア・マネジメント・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシー

※上記の内容は、今後変更になる場合があります。

以下には、「コロンビア・USコントラリアン・ファンド ヘッジド・クラス／アンヘッジド・クラス」をシェアクラスとして含む「コロンビア・USコントラリアン・ファンド」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

包括利益計算書 2021年9月30日に終了した年度

	2021年9月30日に 終了した決算期 (単位：日本円)	2020年9月30日に 終了した決算期 (単位：日本円)
収益		
受取配当金	60,979,118	78,065,614
受取利息	4,446,704	562,189
外国為替の利益／（損失）	14,824,875	(9,922,278)
金融資産負債に係る公正価値の変動 利益／（損失） 計	1,176,563,138	(167,521,694)
	1,256,813,835	(98,816,169)
費用		
受託会社報酬及び管理会社費用	2,139,124	2,156,182
副管理会社費用	12,709,289	12,741,110
カストディーフィー	6,705,868	4,511,870
投資運用報酬	19,609,142	19,318,010
運用報酬	3,699,695	3,946,482
取引費用	1,386,138	2,076,392
スワップ関連費用	3,539,971	4,890,614
コラテラル・エージェント・フィー	771,166	513,196
その他費用	3,032,326	2,793,209
費用 計	53,592,719	52,947,065
税引き前利益／（損失）	1,203,221,116	(151,763,234)
源泉税	(16,568,118)	(20,942,719)
受益者に帰属する純資産の増加（減少）（設立費用調整前）	1,186,652,998	(172,705,953)
設立費用調整額	(510,048)	(516,792)
受益者に帰属する純資産の増加（減少）（設立費用調整後）	1,186,142,950	(173,222,745)

組入上位銘柄

(基準日：2021年9月30日)

	銘柄名	業種名	比率
1	Microsoft Corporation	情報技術	6.6%
2	Apple Inc.	情報技術	5.6%
3	Amazon.com, Inc.	一般消費財・サービス	4.7%
4	Raytheon Technologies Corporation	資本財・サービス	2.9%
5	Alphabet Inc. Class C	コミュニケーション・サービス	2.9%
6	Alphabet Inc. Class A	コミュニケーション・サービス	2.7%
7	Facebook, Inc. Class A	コミュニケーション・サービス	2.6%
8	Berkshire Hathaway Inc. Class B	金融	2.5%
9	Johnson & Johnson	ヘルスケア	2.5%
10	Mastercard Incorporated Class A	情報技術	2.3%
	全銘柄数	76銘柄	

※比率は保有現物株の時価総額に対する割合

マネー・マネジメント・マザーファンド

運用報告書

決算日：2021年7月26日

(第8期：2020年7月28日～2021年7月26日)

当ファンドは、上記の通り決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
主要運用対象	本邦通貨建て公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
投資制限	<ul style="list-style-type: none">・株式への投資は行いません。・外貨建資産への投資は行いません。・デリバティブ取引（有価証券先物取引等、スワップ取引、金利先渡取引をいいます。）の利用はヘッジ目的に限定しません。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		公 社 債 率 組 入 比	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
第4期 (2017年7月25日)	円 10,000		% △0.1	% 79.3	百万円 49
第5期 (2018年7月25日)	9,995		△0.1	83.5	49
第6期 (2019年7月25日)	9,988		△0.1	86.0	37
第7期 (2020年7月27日)	9,979		△0.1	88.0	27
第8期 (2021年7月26日)	9,972		△0.1	62.4	27

*当ファンドは、安定した収益の確保を図ることを目的とした運用を行っているため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準	価 額		公 社 債 率 組 入 比
		騰 落	率	
(期 首) 2020年7月27日	円 9,979		% -	% 88.0
7月末	9,978		△0.0	88.0
8月末	9,978		△0.0	62.5
9月末	9,977		△0.0	80.9
10月末	9,976		△0.0	88.2
11月末	9,976		△0.0	51.5
12月末	9,973		△0.1	69.2
2021年1月末	9,973		△0.1	69.0
2月末	9,973		△0.1	68.9
3月末	9,973		△0.1	68.9
4月末	9,973		△0.1	69.5
5月末	9,973		△0.1	62.3
6月末	9,972		△0.1	62.4
(期 末) 2021年7月26日	9,972		△0.1	62.4

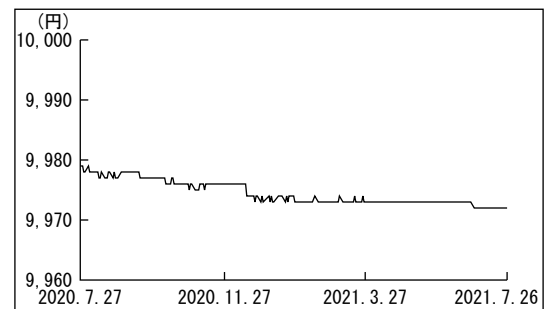
*騰落率は期首比です。

運用経過

【基準価額等の推移】

期首：9,979円
 期末：9,972円
 騰落率：△0.1%

基準価額の推移



【基準価額の主な変動要因】

(下落要因)

マイナス金利政策導入を背景とした無担保コールレートのマイナス化が要因となりました。

【投資環境】

国内短期金融市場では、期首-0.09%近辺でスタートした国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、-0.08%~-0.18%内での動きに終始し、-0.11%近辺で期末を迎えました。

【ポートフォリオ】

安全性と流動性を考慮し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の国債・政府保証債を中心とした運用を継続しました。

今後の運用方針

日本銀行は2021年3月の金融政策決定会合において、より効果的で持続的な金融緩和を実施していくための点検を行いました。現時点で日本銀行によるマイナス金利の深掘りの可能性は低いものの、現行の強力な金融緩和政策を継続することから、市場利回りは当分の間低い水準での推移を予想します。当ファンドでは引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。ファンドの平均残存年限については、2~4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2020年7月28日~2021年7月26日		
	金額	比率	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)	その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	0	0.000	
期中の平均基準価額は9,975円です。			

*「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

*期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む。)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

*円未満は四捨五入しています。

売買及び取引の状況

(2020年7月28日から2021年7月26日まで)

■公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国	内 特殊債券	22,165	— (29,000)

*金額は受渡し代金(経過利子分は含まれていません。)

* ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

主要な売買銘柄

(2020年7月28日から2021年7月26日まで)

■ 公社債

買	当		期	
	付	額	売	付
銘	柄	金	銘	柄
		額		額
		千円		千円
149	政保道路機構	5,050	—	—
137	政保道路機構	5,049		
152	政保道路機構	5,029		
11	政保政策投資C	5,015		
145	政保道路機構	2,020		

*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

利害関係人との取引状況等

(2020年7月28日から2021年7月26日まで)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

2021年7月26日現在

■ 公社債

A 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債 券)	千円 17,000 (17,000)	千円 17,049 (17,049)	% 62.4 (62.4)	% — (—)	% (—)	% (—)	% 62.4 (62.4)
合 計	17,000 (17,000)	17,049 (17,049)	62.4 (62.4)	— (—)	— (—)	— (—)	62.4 (62.4)

* () 内は、非上場債で内書き

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

B 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

銘	柄	当 期			末
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
(特殊債券(除く金融債券))		%	千円	千円	
11	政保政策投資C	1.0000	5,000	5,006	2021/09/14
145	政保道路機構	1.0000	2,000	2,003	2021/09/30
149	政保道路機構	1.0000	5,000	5,016	2021/11/30
152	政保道路機構	1.1000	5,000	5,022	2021/12/28
合 計		—	17,000	17,049	—

投資信託財産の構成

2021年7月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	17,049	62.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	10,291	37.6
投 資 信 託 財 産 総 額	27,341	100.0

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年7月26日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	27,341,027円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	10,271,288
公 社 債 (評価額)	17,049,399
未 収 利 息	9,656
前 払 費 用	10,684
(B) 負 債	2,997
未 払 解 約 金	2,997
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	27,338,030
元 本	27,414,261
次 期 繰 越 損 益 金	△ 76,231
(D) 受 益 権 総 口 数	27,414,261口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C / D)	9,972円

* 元本状況

期首元本額	27,434,637円
期中追加設定元本額	477,685円
期中一部解約元本額	498,061円

* 元本の内訳

タフ・アメリカ (マナープールファンド)	7,968,318円
米国小型株ツインα (毎月分配型)	552,681円
日本株アルファ・カルテット (毎月分配型)	1,998,801円
米国リバーサル戦略ツインαネオ (毎月分配型)	16,364,935円
米国リート厳選ファンド (毎月決算型)	249,776円
米国リート厳選ファンド (資産成長型)	249,776円
日本株アルファ・カルテット (年2回決算型)	9,990円
大和住銀/コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース (ダイワ投資一任専用)	9,992円
大和住銀/コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース (ダイワ投資一任専用)	9,992円

* 元本の欠損

76,231円

損益の状況

自2020年7月28日
至2021年7月26日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	200,705円
受 取 利 息	205,171
支 払 利 息	△ 4,466
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△218,593
売 買 損 益	△218,593
(C) そ の 他 費 用	△ 19
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 17,907
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 58,358
(F) 解 約 差 損 益 金	1,337
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 1,303
(H) 計 (D + E + F + G)	△ 76,231
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	△ 76,231

* 有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含まず。

* 解約差損益金とは、一部解約時の解約金額と元本の差額をいい、元本を下回る額は利益として、上回る額は損失として処理されます。

* 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。